

2024年度 事業報告書

I. 事業の概況

今年度は、例年どおり、研究等への助成事業や奨学金給付事業を行った。
それぞれの事業の実施状況は、以下のとおりである。

<公益目的事業1>

2025年1月20日 第28回選考委員会 採択結果

(単位：千円)

	応募数	採択数	助成金額	前年比
1(1) 一般研究者への助成	149	86	124,770	124%
1(2) 若手研究者への助成	35	24	19,050	143%
1(3) 在外実務研修助成	0	0	0	—
2 国際交流助成	16	12	9,740	304%
3 国際会議助成	7	5	7,200	81%

*前年比は助成金

1. 都市に関する学術研究に対する助成（定款第4条1項1号）

(1) 一般研究者への助成

① 対象

都市計画・都市景観、都市環境工学、都市交通システム・エネルギー計画、建築技術、都市建築史、都市と文化、都市政策、都市経済などに関連する研究を行う一般研究者

② 募集

2024年7月1日当財団のホームページに募集要項を掲示し、国公私立大学等に募集案内を送付したうえで、同年10月1日から10月31日までの間応募を受け付けた。

③ 選考

149件の応募があった。

応募案件毎にそれぞれ3名の選考委員が、次の評価要素を勘案し、事前審査が行われた。

- a. 発想の独創性
- b. 研究計画の実現性
- c. 研究又は研究体制の発展への貢献度
- d. 財団の助成対象としての適合性

2025年1月20日開催の第28回選考委員会において、9名の選考委員が事前審査の結果を踏まえて、86名の助成候補者を選定し、理事長に報告した。

理事長が研究助成対象者86名の採択を承認したので、2025年3月4日、応募者全員に採択又は不採択の旨を通知した。
(採択後に3名辞退)

(計 124,770 千円)

(2) 若手研究者への助成

① 対象

大学院修士又は博士課程に在籍し、都市に関するテーマを専攻する若手研究者

② 募集

(1) 一般研究者への助成の場合と同じ

③ 選考

35件の応募があった。

一般研究者への助成の場合と同様の審査過程を経て、奨励研究助成候補者24名を選定し、理事長に報告した。

理事長が奨励研究助成対象者24名の採択を承認したので、2025年3月4日、応募者全員に採択又は不採択の旨を通知した。

(計 19,050 千円)

(3) 在外実務研修助成

① 対象

大学院修士又は博士課程に在籍し、都市に関連する学術分野を専攻する学生のうち海外の研究機関、設計事務所等で実務研修を受けようとする者

② 募集

(1) 一般研究者への助成の場合と同じ

③ 選考

本年度は応募者がなかった。

2. 都市に関する学術研究を行う海外に在住する研究者の招聘及び日本に在住する研究者の海外派遣に対する助成 (定款第4条1項2号)

① 対象

都市に関する学術的な国際会議、学会または共同研究等のために来日する海外に在住する研究者の招聘、又は同様の目的で渡航する日本に在住する研究者の海外派遣

② 募集

1の(1)一般研究者への助成の場合と同じ

③ 選考

16件の応募があった。

一般研究者への助成の場合と同様の審査過程を経て、国際交流助成候補者12名を選定し、理事長に報告した。
理事長が国際交流助成対象者12名の採択を承認したので、2025年3月4日、応募者全員に採択の旨を通知した。

(計 9,740 千円)

3. 都市に関する国際会議、研究集会、シンポジウム及びセミナー等の開催に対する助成（定款第4条1項3号）

(1) 国際会議助成について

① 対象

日本で開催される都市に関する国際会議等

② 募集

1の(1)一般研究者への助成の場合と同じ

③ 選考

7件の応募があった。

一般研究者への助成の場合と同様の審査過程を経て、国際会議助成候補5件を選定し、理事長に報告した。

理事長が国際会議助成対象5件の採択を承認したので、2025年3月4日、応募者全員に採択又は不採択の旨を通知した。

(計 7,200 千円)

(2) 学術講演会、展示会、セミナーなどの開催等への助成

以下の9件について助成を行なった。

① なら国際映画祭 2024

② LOVE ファッション—私を着がえるとき

③ 六本木アートナイト 2024

④ 今津景 タナ・アイル

⑤ HOME-FOR-ALL みんなの家プロジェクト

⑥ 日本の名作住宅からの学び

⑦ そこに光が降りてくる カフェプロジェクト 光のカフェ

⑧ 国際芸術祭「あいち 2025」

⑨ 第19回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展（2025）における日本館展示

(計 16,282.5 千円)

4. 都市に関する学術研究等において優れた成果を上げた研究者に対する顕彰（定款第4条1項4号および6号）

2024年5月22日、第24回別府アルゲリッチ音楽祭 日本生命 presents ピノキオ支援コンサート 音楽は人を結ぶ～共鳴 演奏後、その場を借りて「第13回大林賞授賞式」を開催した。

共同受賞したマルタ・アルゲリッチ氏・伊藤京子氏・公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団に表彰状、記念品及び賞金を授与した。

また、財団ホームページで申し込みを受け付けた約300名の応募の中から抽選で50名を上記公演に招待した。

開催日 2024年5月22日（水）
会場 すみだトリフォニーホール（大ホール）
東京都墨田区錦糸 1-2-3

（計 12,418 千円）

5. 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成する為に必要な事業
（定款第4条1項8号）

研究助成事業と顕彰事業（大林賞）における選考会議開催費、選考料他の助成事業関係費を支出した。

（計 5,335 千円）

6. 都市に対して新たな視点からの提言、研究等を行う制作者等への助成（定款第4条1項5号）

（1）記録冊子の発送

第4回制作助成対象者のイム・ミヌク氏による展覧会及びイベントを活動を記録した冊子の作成を行った。12月20日から財団ホームページにて記録冊子の申し込みを受け付け、200件を超える応募があった。第1弾を1月24日に、第2弾を2月19日までに申込者全員に発送した。

（2）第5回制作助成対象者の決定

2024年12月9日開催の第34回推薦選考委員会にて、ホー・ルイ・アン氏を第5回制作助成対象者として採択し、第90回理事会で報告した。

氏名 ホー・ルイ・アン (Ho Rui An)

（略歴）

1990年シンガポール生まれ

現代美術、映画、パフォーマンス、理論の交差点で活動するアーティスト兼ライター。レクチャーやエッセイ、映画などを通してグローバル時代のさまざまな統治システム下での労働、テクノロジー、資本の関係性を探求しています。これまでに、「上海ビエンナーレ」(2023)「バンコク・アート・ビエンナーレ」(2020)「光州ビエンナーレ」(2018)、「ジャカルタ・ビエンナーレ」(2017)、「シャルジャ・ビエンナーレ 13」(2017)、「コチ・ムジリス・ビエンナーレ」(2014) や、ナショナル・ギャラリー・シンガポール(2022)、クンストハレ・ウィーン(2021)、山口情報芸術センター(2018)、ハオス・デア・クルトゥーレン・デア・ヴェルト(ベルリン、2017)などでプロジェクトを発表している。

(計 6,663 千円)

(3) その他、制作助成事業に係る事業について

制作助成事業全般に関する事務局外部委託費、選考会議開催費、選考料他の制作助成事業関係費を支出した。

(計 5,500 千円)

<公益目的事業2>

2024年6月17日、7月18日

第16・17回奨学生選考委員会 採択結果

(単位：千円)

	応募数	採択数	奨学給付金
7(1) 国内奨学生(第11期)	--	--	6,000
7(1) 国内奨学生(第12期)	--	--	9,600
7(1) 国内奨学生(第13期)	13	12	7,200
7(3) 海外留学奨学生(第1期)	28	11	12,045

7. 都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする国内学生及び留学生に対する学資の給付及び支援等(定款第4条1項7号)

(1) 国内奨学生選考

① 募集

2023年12月11日に国公立大学(財団指定29校)に募集案内を送付したうえで、2024年4月1日から5月15日までの間応募を受け付けた。

② 選考

11大学から13件の応募があった。

それぞれの応募者について、6名の奨学生選考委員によって、次の評価要素を勘案し、審査・面接が行われた。

- a. 都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする意志があること
- b. 人物、学業、健康ともに優れていること
- c. 奨学生交流会等、当財団の行事に積極的に出席する意志があること

2024年7月18日開催の第17回奨学生選考委員会において、12名の候補者を選定し、理事長に報告した。

理事長が2024年度奨学生(第13期)12名の採択を承認したので、2024年7月22日、奨学生及び各大学に採用決定の旨を通知した。

(2) 国内奨学生 奨学給付金

① 第11期・第12期生

学期終了後、生活状況報告書、学業成績証明書などの提出を受け、全員給付継続とし、5月、7月、10月、1月に各3ヶ月分をそれぞれ給付した。

② 第13期生

2024年8月19日、第1回奨学給付金6ヶ月分を振込み、以降10月、1月にそれぞれ3ヶ月分を給付した。

(計 22,800 千円)

(3) 海外留学奨学生選考

① 募集

2023年12月11日に国公立大学(財団指定29校)に募集案内を送付したうえで、2024年4月22日までの間、応募を受け付けた。

② 選考

14大学から28件の応募があった。

それぞれの応募者について、6名の奨学生選考委員によって、次の評価要素を勘案し、審査・面接が行われた。

- a. 都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする意志があること
- b. 前向きに海外留学に取り組む意志があること
- c. 異文化・多様性の理解を積極的に行い、将来国内外で広く活躍する意志があること
- d. 人物、学業、健康ともに優れていること
- e. 奨学生交流会等、当財団の行事に積極的に出席する意志があること

2024年6月17日開催の第16回奨学生選考委員会において、11名の候補者を選定し、理事長に報告した。

理事長が2024年度海外留学奨学生（第1期）11名の採択を承認したので、2024年6月18日、奨学生及び各大学に採用決定の旨を通知した。（決定後2名辞退）

(4) 海外留学奨学生 奨学給付金

第1期生

2024年8月以降、それぞれの出発時期に合わせ1か月前を目途に、本年度分の海外留学奨学金を給付した。

(計 12,045 千円)

海外・国内奨学金 合計 34,845 千円

(5) その他、奨学事業に係る事業について

- ① 2024年度奨学生採択決定通知書授与式・交流会（国内奨学生・海外留学奨学生合同）を、下記の通り実施した。

日時 2024年8月22日 16:00～18:00

場所 授与式 株式会社大林組本社3階講堂
交流会 同上30階レセプションホール

出席者 国内奨学生（第13期）8名、海外留学奨学生（第1期）4名、
財団関係者 12名
第1期～第12期生 54名（交流会のみ出席）

- ② 国内奨学金第13期生、海外留学奨学金第1期生参加の技術研究所見学会を開催した。

日時 2024年8月23日 10:00～13:00

場所 株式会社大林組 技術研究所

参加者 14名

(国内奨学生 8名、海外留学奨学生 3名、財団関係者 3名)

- ③ 授与式の欠席者について、国内奨学生は2025年1月22日に4名、海外留学奨学生は2024年8月2日に5名、別途授与式を行った。

- ④ 2024年度奨学生修了式等を、下記の通り実施した。

日時 2025年3月7日 16:30～18:30

場所 修了式 株式会社大林組 本社3階講堂
交流会 同上30階レセプションホール

出席者 修了生 8名（第11期）、財団関係者 11名

修了生を除く第1期～第13期生 61名（交流会のみ出席）

（計 6,962千円）

（注）上記1～3の各助成対象者の氏名、研究内容等については、事報－9～22の一覧表に記載のとおり。

上記7の奨学生採択者大学名については、事報－25に記載のとおり。

【附属明細書について】

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する「附属明細書」に該当する事項はありません。

2024年度研究助成採択者一覧（86名）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
1	水野 貴之	ミズノ タカユキ	国立情報学研究所 情報社会相関研究系 准教授	AIエージェントによる都市人流デジタルツインの構築	150
2	高橋 駿人	タカハシ ハヤト	東北大学 大学院工学研究科土木工学専攻 特任助教（研究）	静的破砕剤を高次利用したRC構造物の最適解体工法探索に関する研究	150
3	池田 千恵子	イケダ チエコ	大阪公立大学大学院 都市経営研究科 准教授	国際観光客の増加と地域に及ぼす影響：日本におけるツーリズムジェントリフィケーションとその対策に関する研究	150
4	山口 大翔	ヤマグチ ヒロト	東京大学 生産技術研究所 助教	三次元計測技術と付加製造技術を用いた伝統木造建築柱脚部の補強手法の開発	150
5	森 太郎	モリ タロウ	北海道大学大学院工学研究院 建築都市部門 教授	寒冷地における避難訓練参加者を対象とした避難環境の厳しさに関する研究	149
6	谷田 桜子	タニダ サクラコ	東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻 助教	交通網における混雑由来の自己組織化メカニズムの解明	150
7	能作 文徳	ノウサク フミノリ	東京科学大学 環境・社会理工学院 建築学系 准教授	能登半島地震の震災復興における資源循環型デザインの構築と実践	150
8	福山 智子	フクヤマ トモコ	立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 教授	建設用3Dプリンタ造形物の圧縮強度試験における積層界面ひび割れの発生・伝播メカニズムの解明	150
9	清水 里司	シミズ サトシ	国立大学法人 山口大学大学院 創成科学研究科 工学系学域 感性デザイン分野 教授	自県材を活用した地域内循環を促進するまちづくりに関する研究	148
10	杉野 未奈	スギノ ミナ	京都大学大学院 工学研究科建築学専攻 准教授	空き家が地震災害に及ぼす影響評価	150
11	大窪 和明	オオクボ カズアキ	東北大学大学院 国際文化研究科 准教授	資源循環を取り巻く国際環境の変化が日本の廃プラスチック取引に与える影響	150

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
12	種市 慎也	タネイチ シンヤ	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 助教	保育施設の立地環境が室内空気環境及び子ども・保育者の身体活動量に及ぼす影響の解明	150
13	積田 典泰	ツミタ ノリヤス	金沢大学 融合研究域融合科学系 助教	タイにおけるラウンドアバウトの複数車両の相互作用を考慮した安全性評価手法の検討-UAVデータを用いた実証的研究-	150
14	荒川 俊也	アラカワ トシヤ	日本工業大学 先進工学部 データサイエンス学科 教授	避難訓練状況下の脳活動計測に基づく災害避難時の意思決定戦略の解明	150
15	Azizul Moqsud	アジズル モクスト	山口大学 大学院創成科学研究科 工学系学域 准教授	斜面災害や液状化から都市を守るための土壌バイオセメント化	150
16	中西 仁美	ナカニシ ヒトミ	キャンベラ大学 Faculty of Arts and Design 准教授	瀬戸内海沿岸部における南海トラフ地震時の津波のリスクと避難シミュレーションに関する研究	104
17	鳴海 大典	ナルミ ダイスケ	岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 教授	費用便益分析に基づく都市域の暑熱リスク軽減策の導入シナリオ検討	150
18	欠番 (辞退)				
19	小澤 満津雄	オザワ ミツオ	群馬大学大学院理工学府 物質環境類 土木環境プログラム 教授	若材齢RC補修材料の火災時爆裂リスクの評価と爆裂抑制方法の提案	150
20	佐藤 理人	サトウ リヒト	高知工科大学 システム工学群 准教授	モバイル建築を活用した古民家の改修手法に関する研究	150
21	渡辺 安虎	ワタナベ ヤストラ	東京大学 大学院経済学研究科及び公共政策大学院 教授	需要減少産業における企業行動と生産性	150
22	西脇 智哉	ニシワキ トモヤ	東北大学大学院 工学研究科都市・建築学専攻 准教授	コンクリート3Dプリンタによる構造積層体を実現する自動補強方法	150
23	堀 裕典	ホリ ヒロフミ	岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授	米国におけるBusiness Improvement Districtに関する研究 -活動・受益・評価に着目した日本への示唆-	150
24	小林 剛	コバヤシ タケシ	横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授	ひ素等土壌汚染の詳細健康リスクおよび持続可能性の評価と効率的な管理手法の提案	140

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
25	劉虹	リュウ コウ	東京理科大学 創域理工学部建築学科 嘱託助教	複数の大地震を経験した中高層RC造建物の動的特性に関する研究 一台湾花蓮市における集合住宅を対象として一	150
26	時松 宏治	トキマツ コウジ	東京科学大学 環境・社会理工学院 准教授	近年の価格高騰の推移を踏まえたエネルギー消費行動の変化の解明	150
27	加登 遼	カトウ ハルカ	大阪公立大学 大学院生活科学研究科 居住環境学分野 講師	オールド・ニュータウンからヘルシー・ニュータウンへの都市変容：メディカルビッグデータを用いたアプローチ	150
28	大西 弘志	オオニシ ヒロシ	岩手大学 理工学部システム創成工学科 教授	取替用軽量鋼・コンクリート合成床版の開発	150
29	吉川 美穂	ヨシカワ ミホ	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門 主任研究員	土壌孔隙構造が微生物によるクロロエチレン類の浄化へ与える影響の解明：効率的な土壌環境浄化を目指して	150
30	永井 拓生	ナガイ タクオ	滋賀県立大学 環境科学研究院 講師	竹構造におけるクリープの評価を目的とした竹の粘弾性特性の解明に関する研究	150
31	WANG RUCI	オウ ジョジ	千葉大学 環境リモートセンシングセンター 特任助教	2050年持続可能な都市実現に向けた土地利用シナリオ予測	150
32	有馬 孝彦	アリマ タカヒコ	北海道大学大学院工学研究院 環境循環システム部門 助教	ハイパースペクトルイメージと深層学習を用いた汚染土壌判定モデル最適化のための教師データの化学統計的評価	150
33	友瀨 貴之	トモブチ タカユキ	宮城大学 事業構想学群 助教	次世代への継承に着目したニュータウン的補完計画論の構築に向けた都市診断モデルの開発	150
34	欠番 (辞退)				
35	中村 亮太	ナカムラ リョウタ	新潟大学 工学部工学科社会基盤工学プログラム 准教授	火山溶岩流からの避難行動の解析と避難計画の考案一富士山噴火を事例として一	150

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
36	高柳 英明	タカヤナギ ヒデアキ	東京都市大学 都市生活学部 都市生活学科 教授	人口集中地域における住空間・オフィスの同時多目的活用を可能にする会話モジュールを導入した集中と団らんのバランスを最適化するマルチパーパスワークトップの研究開発	146
37	小島 見和	コジマ ミナ	福山市立大学 都市経営学部 都市経営学科 助教	近畿大都市圏における計画的郊外住宅地と農山村の新たな連携の形成に関する調査研究：生業と空間の歴史的構造に着目して	150
38	中尾 方人	ナカオ マサト	横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 特別研究教員	複合応力を受ける伝統的木造の仕口の構造性能評価	150
39	藤田 吾郎	フジタ ゴロウ	芝浦工業大学 工学部電気電子工学課程 電気・ロボット工学コース担当 教授・学長補佐	鉄道軌道の簡易な予防保全の実用化に関する研究	150
40	田中 勝也	タナカ カツヤ	滋賀大学 経済学部／環境総合研究センター 教授	地域特性を考慮したグリーンインフラの最適配置に関する研究	145
41	富永 京子	トミナガ キョウコ	立命館大学 産業社会学部 准教授	セルフビルドによる空き家利活用が市民の自治意識と都市コミュニティ形成に与える影響	100
42	砂本 文彦	スナモト フミヒコ	神戸女子大学 家政学部家政学科 教授	ファンダムによる身体的空間の構築と「ファンダムシティ・ソウル」の輪郭	150
43	深見 奈緒子	フカミ ナオコ	国士舘大学21世紀アジア学部附属イラク古代文化研究所 特別研究員	カイロ歴史地区の都市史再考；前近代の地区（ハーラ、コミュニティ）形態と街路景観から紐解くカイロ史	150
44	沼田 麻美子	ヌマタ マミコ	土地総合研究所 総務部 研究員	日独における地球沸騰化時代の気候変動対策を考慮した都市計画	150
45	嶋本 寛	シマモト ヒロシ	宮崎大学 工学部土木環境工学プログラム 准教授	ミクロ交通流シミュレーションとアンケート調査に基づく渋滞吸収走行の実装に向けた動的車線運用方策と効果検証	150
46	アルワシャリ ハモード	アルワシャリ ハモード	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 准教授	エポキシ樹脂と機械式ボルトの接合部を用いたCLT-RCハイブリッド床に関する研究	150

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
47	兪 ハニ	ユ ハニ	東京大学 大学院工学系研究科建築学専攻 助教	室内外空間におけるHSPの視聴覚過敏を引き起こす環境要因に関する研究	150
48	山中 稔	ヤマナカ ミノル	香川大学 創造工学部建築・都市環境コース 教授	石垣累積示力線法への補強土工法を付加した耐震性向上効果の検討	150
49	和田 菜穂子	ワダ ナホコ	東京家政大学 家政学部造形表現学科 准教授	北欧の二都市におけるシビックプライド醸成につながる市民教育の手法研究	150
50	山田 菜緒子	ヤマダ ナオコ	金沢大学 融合研究域融合科学系 准教授	米国立公園のサインから学ぶ来訪者へのコミュニケーション：街並みづくり、観光地整備、体験創造につながるサインの指針作成	150
51	堤 盛人	ツツミ モリト	筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授	本社移転の実態と効果：新しい働き方に対応した都市への転換を目指して	150
52	洪 銅基	ホン ドンギ	九州大学人間環境学研究院 都市・建築学部門 特任助教（学術研究員）	都市の余剰エネルギー可視化ツールを用いた電気自動車充電インフラの最適立地と普及促進法案の検討	150
53	渡邊 大志	ワタナベ タイシ	早稲田大学 理工学術院創造理工学部建築学科 准教授	仮設環境建築「コンテナガーデン」を用いた都市のエアークケット空間の再資源化に関する実践的研究	150
54	大和 義昭	ヤマト ヨシアキ	呉工業高等専門学校 建築学科 教授	色覚異常者にとっても安心・安全な都市空間の計画に貢献するカラーユニバーサルデザインガイドライン作成のための基礎的研究	150
55	小松 尚	コマツ ヒサシ	名古屋大学 大学院環境学研究科 都市環境学専攻 建築学系 教授	公立小中学校のオープンな図書空間の計画及び運営に関する研究	130
56	永井 秀幸	ナガイ ヒデユキ	公立大学法人 宮城大学 事業構想学群 准教授	縮退戦略に向けた多層土地利用シミュレーションフレームワークの構築	150

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
57	小川 拓郎	オガワ タクロウ	九州大学大学院 人間環境学研究院D-Be(デジタル・ビルト・エンバイロメント)部門 准教授	古代ローマ都市オステティアにおける地盤面嵩上げのメカニズム その2	150
58	古川 幸	フルカワ サチ	大阪公立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 講師	鋼管杭頭部－杭頭接合部の複合的な損傷進展時における終局耐震性能の解明	150
59	石垣 範和	インガキノリカズ	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 工学研究科、材料デザイン工学専攻 助教	建築物の蓄電拠点化にむけた次世代正極材料の開発	150
60	欠番 (辞退)				
61	中野 尊治	ナカノ タカハル	大阪大学大学院 工学研究科地球総合工学専攻 助教	速度増幅機構を備えた渦電流ダンパーの開発とモデル化	150
62	魯 牡丹	ル ムタン	九州大学 キャンパス計画室 研究員	東京のブルックリン化による地域の包摂的空間におけるコモナリティ特性に関する研究	150
63	三村 泰広	ミムラ ヤスヒロ	公益財団法人豊田都市交通研究所 研究部 次長・主幹研究員	住民によるマイクロ・モビリティ(μM)のための歩道路面性状評価の可能性	148
64	田坪 賢人	タツボ ケント	大阪公立大学大学院 文学研究科 都市文化研究センター (UCRC) 研究員	近世都市社会における大工職人の総合的研究ー建築の社会史の視点から	86
65	飯郷 雅之	イイゴウ マサユキ	宇都宮大学 農学部応用生命化学科 教授	都市の夜間人工光が魚類のメラトニン分泌と体内時計に与える影響	150
66	三文字 昌也	サンモンジ マサヤ	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 特任研究員	都市生活施設から辿る多文化都市空間史ー東アジア植民地都市における公衆浴場の形成と継承の比較研究	150
67	友寄 篤	トモヨセ アツシ	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 助教	濱田稔が残した戦前防火関連アーカイブス～原寸大火災実験フィルム～	150
68	伊達 一穂	ダテ カズホ	東京芸術大学 美術学部 建築科 教育研究助手	同潤会木造普通住宅事業において展開された大規模災害後の住環境運営に関する研究	100
69	鍵屋 浩司	カギヤ コウジ	東北工業大学 建築学部建築学科 教授	超高層ビル・タワーマンションのBCP・LCPのための「防災フロア」の研究	150

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
70	鈴木 勉	スズキ ツトム	筑波大学 システム情報系 教授	輸送モードの多様化と地域性・広域性を両立する公共交通網設計	150
71	加藤 耕一	カトウ コウイチ	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 教授	建造物と考古遺跡の文化遺産保護理念に関する日欧比較研究	150
72	佐藤 太裕	サトウ モトヒロ	北海道大学大学院 工学研究院 機械・宇宙航空工学部門 教授	道路網の幾何形状解析による新しい街づくりへの指針の提案	150
73	安部 遼祐	アベ リョウスケ	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 准教授	路面上の公共交通軸の設定が沿線活動量に与える影響に関する実証研究	150
74	中島 史郎	ナカジマ シロウ	国立大学法人宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 教授	屋外現しとなる木質架構の耐力と剛性の評価及び設計法に関する研究	146
75	田中 皓介	タナカ コウスケ	京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻 助教	移動時に子供が見る世界の交通手段別多様性評価	124
76	西川 博美	ニシカワ ヒロミ	岡山県立大学 デザイン学部 建築学科 教授	文化拠点として捉える港湾都市の分析と維持・再生計画	115
77	西野 雄一郎	ニシノ ユウイチロウ	大阪公立大学大学院 工学研究科 講師	文化的景観の継承の担い手としてのモバイルな就労者の可能性 - 京都府和束町を対象として	150
78	中嶋 麻起子	ナカジマ マキコ	広島工業大学 工学部建築工学科 講師	衛生仮説の数値化への挑戦：多様性指数を用いた微生物環境評価	150
79	片岡 誠	カタオカ マコト	芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム学科 教授	山留め支保工の初期検討のためのリアルタイム応力計算グラフィカルユーザーインターフェイスの開発	150
80	松浦 健治郎	マツウラ ケンジロウ	千葉大学大学院 工学研究院 建築学コース 准教授	公民連携エリア一体型ストック・リデザインのアクションリサーチ	150
81	近藤 紀章	コンドウ ノリアキ	滋賀大学 データサイエンスAIイノベーション研究推進センター 講師	都市政策を基軸とした持続可能な森林管理システムの構築—中山間地域におけるランドスケープガバナンスの実証分析—	126

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
82	松井 大輔	マツイ ダイスケ	新潟大学 工学部工学科建築学プログラム 准教授	飛騨古川における土蔵の立地形態と外観的特徴-町並み景観の基礎となる「相場」の新たな展開に向けて-	120
83	平尾 しえな	ヒラオ シエナ	東京科学大学 環境・社会理工学院 建築学系 助教	茅刈りのスポーツ化による新しいコモンズとしての茅場の可能性	150
84	土田 亮	ツチダ リョウ	東京大学大学院総合文化研究科 超域文化科学専攻 文化人類学コース 日本学術振興会 特別研究員PD	宝石産業都市の現代的展開に関する研究：スリランカ・ラトゥナプラ市における洪水・生業・商実践の関連性と都市のレジリエンスに着目して	150
85	藤井 由理	フジイ ユリ	早稲田大学 理工学術院総合研究所 研究院 客員教授	「生きにくさ」にアプローチする都市と建築の研究 - 空間・まちづくりの事例研究から課題を整理する	150
86	塚本 由晴	ツカモト ヨシハル	東京科学大学 環境社会理工学院 建築学系 建築コース 教授	里山に由来する資源の建設資材化マニュアルの作成	150
87	中島 裕輔	ナカジマ ユウスケ	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授	日本の気候条件下における木質繊維断熱材の室内環境調整機能と省エネルギー・省CO2効果に関する研究	150
88	小島 陽子	コジマ ヨウコ	日本大学 理工学部建築学科 助教	アンコール王朝期の版築技術に関する基礎的研究	100
89	河野 哲也	コウノ テツヤ	富山大学 学術研究部都市デザイン学系 准教授	データプラットフォームによる災害時の道路ネットワーク機能推定の実現に向けた構造物の劣化・損傷予測を可能にする物性DBシステムの構築	150

合計 12,477

2024年度奨励研究助成採択者一覧（24名）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	所属	研究課題	助成額
1	杉山 紗弥佳	スギヤマ サヤカ	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 国際プロジェ クト研究室	途上国コミュニティ・行政組 織の関係性をもたらすインフ ラ事業の遅延に与える影響分 析－経済危機のスリランカを ケースに－	80
2	大平 尚輝	オオヒラ ナオキ	北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 先端科学 技術専攻 災害マネジメント研 究室（郷右近英臣研究室）	InSARとGIS分析の融合による 土砂崩壊量の三次元推定手法 の開発	80
3	黒沼 香恋	クロヌマ カレン	パリ国立高等音楽院・ブ リュッセル王立音楽院 ピアノ 伴奏科・ピアノ科 Jean-Frédé ric-Neubruget/ Johan Schmidt	ヨーロッパ各国における地域 コミュニティ内でコンサート が果たす役割について	80
4	森下 啓太郎	モリシタ ケイタロウ	早稲田大学大学院 創造理工学 研究科 建築学専攻 山田宮土 理研究室	環境に配慮した土を用いた建 築構法のあり方	80
5	大西 健太	オオニシ ケンタ	東京大学大学院 総合文化研究 科 広域科学専攻広域システム 系 人文地理学研究室	アニメーション産業における ネットワーク形成を促進する 都市の役割変容－地方・仮想 空間との比較分析	80
6	田中 敦基	タナカ アツキ	名古屋大学大学院 環境学研究 科 李研究室	開門冷房による漏気を抑制す る吹出風速可変型エアカーテ ンの開発	80
7	荻原 篤志	オギワラ アツシ	信州大学大学院 総合理工学研 究科 中谷研究室	浸水被害住宅の床下空間にお ける送風機を用いた乾燥技術 に関する研究	80
8	大山 亮	オオヤマ リョウ	東京科学大学 環境・社会理工 学院 建築学系 建築学コース 塚 本由晴研究室	Shadow Work in Midnight Tokyo 昼夜二面性をもつ都市 のダイナミズムを描く	80
9	西本 大輔	ニシモト ダイスケ	京都大学大学院 工学研究科 水 文循環工学分野（防災研究所 水資源環境研究センター 水動 態研究領域）	超多数洪水氾濫シナリオを活 用したより安全な避難経路の 提案	80

No.	氏名	フリガナ	所属	研究課題	助成額
10	室岡 太一	ムロオカ タイチ	筑波大学大学院 理工情報生命 学術院 システム情報工学研 究群 近未来計画学研究室	主観と行動のギャップを埋め るx-minute city政策の導入可 能性	80
11	松岡 勇樹	マツオカ ユウキ	京都大学大学院 工学研究科 都 市社会工学専攻 土木施工ス テム工学講座	ダイレイタンシーと摩擦の速 度依存性を考慮した構成モデ ルで解き明かす断層滑り挙動	80
12	米倉 龍之介	ヨネクラ リュウノスケ	名古屋大学大学院 環境学研究 科 李研究室	ダイナミックインシュレー ション技術を導入した床暖房 システムの開発	80
13	松田 啓稔	マツダ アキトシ	大阪公立大学大学院 工学研究 科都市系専攻 建築計画・構法 研究室	仮設住宅団地におけるコミュ ニティ形成を促すサポート拠 点の役割に関する研究 –能登半島地震における 珠洲市を対象として-	80
14	阿久津 慶	アクツ ケイ	京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 社会基盤創 造工学研究室	橋梁構造ヘルスマonitoring と技術者判断を融合した橋梁 維持管理における新たな意思 決定枠組みの構築	65
15	程 輝	テイ キ	横浜国立大学大学院 都市イノ ベーション学府 都市イノ ベーション専攻 建築環境工学 研究室	高齢者施設における入所者の 個人特性が温熱環境適応に及 ぼす影響	80
16	七原 宇紀	ナナハラ タカノリ	名古屋大学大学院 環境学研究 科 李研究室	認知的行動シミュレーション モデルによる、建物の建設前 段階での「迷い」の発生箇所 予測	80
17	瀧口 輝	タキグチ ヒカル	芝浦工業大学大学院 理工学研 究科建築学専攻 建築史研究室	アデイスアベバにおける初期 都市型円形住居の空間構成	80
18	増井 柚香子	マスイ ユカコ	東京科学大学大学院 環境・社 会理工学院 建築学系 建築 学コース 塚本由晴研究室	樹木の下の人々のふるまいー 建築としての樹木ー	80
19	檜皮 拓也	ヒワ タクヤ	京都工芸繊維大学大学院 工芸 科学研究科建築学専攻 大田・ 赤松研究室	日本におけるパリ外国宣教会 による建築活動に関する研究	80
20	山本 翔也	ヤマモト ショウヤ	大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 建築・都市 計画論領域	村落領域の文脈から捉える漁 業集落の再編に関する研究	80

No.	氏名	フリガナ	所属	研究課題	助成額
21	浅野 圭佑	アサノ ケイスケ	東海国立大学機構名古屋大学 大学院 環境学研究科 都市環境 学専攻 尾崎研究室	Ti-Ni形状記憶合金焼鈍材の利 用による施工性に優れたポス トテンション工法の開拓	80
22	ZHENG XIYUE	テイ セキゲツ	筑波大学大学院 理工情報生命 学術院 システム情報工学研 究群 土地利用研究室	日本地方小都市における空き 空間を活用した「幼老複合交 流拠点」に関する研究	80
23	川俣 悠	カワマタ ユウ	早稲田大学大学院 創造理工学 研究科 古谷・田中研究室	イギリスとイタリアにおける 鉄道貨物ヤードの保存活用に おける価値判断に関する研究	80
24	飯田 輝良	イイダ キラ	新潟大学大学院 自然科学研究 科 地盤環境研究室	X線CTを用いたベントナイト 緩衝材の内部機構の可視化と 高温作用を受けた力学特性の 影響評価	80

合計 1,905

2024年度国際交流助成採択者一覧（12名）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	所属・職名	研究課題	助成額
1	戸塚 真里奈 (派遣・国際会議)	トツカ マリナ	千葉大学大学院工学研究院 建築学コース 助教	任意の繊維角度における木材の圧縮挙動	66
2	橋本 涼太 (招聘・共同研究)	ハシモト リョウタ	京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授	デジタルツインに基づく防災計画に向けた河川堤防の力学シミュレータに関する研究	90
3	宮内 智久 (派遣・国際会議)	ミヤウチ トモヒサ	京都美術工芸大学 建築学部 教授	伝統と未来の共生：「国宝茶室〈待庵〉再解釈プロジェクト」	90
4	菅野 圭祐 (招聘・共同研究)	スガノ ケイスケ	筑波大学 芸術系 環境デザイン領域 助教	河川ランドスケープと応答した城下町都市・地域圏の空間形態に関する研究	90
5	渋谷 博幸 (派遣・国際会議)	シブサワ ヒロユキ	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 建築・都市システム学系 教授	巨大災害のレジリエンス評価手法の開発：都市地域の産業経済リンケージを考慮した動学的経済モデルを用いて	38
6	Wu Jindong (招聘・共同研究)	ゴ キントウ	中国・清華大学/中国建築設計研究院 建築学院・風景園林学/国家住宅および居住環境工学技術研究センター 研究員(ポスドク)/ 研究員(ポスドク)	冷却効果の最大化を目指す都市のポケットパークに関する景観計画戦略の研究	90
7	海野 聡 (派遣・共同研究)	ウノ サトシ	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 准教授	歴史的都市における遺跡化とモニユメントに関する日欧比較	90
8	大久保 努 (派遣・共同研究)	オオクボ ツトム	木更津工業高等専門学校 環境都市工学科 教授	古都ハリドワールの沐浴場を中心とした都市形成が公衆衛生に与える影響	90
9	水田 丞 (派遣・国際会議)	ミズタ ススム	広島大学 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム 准教授	トーマス・ウォートルス：英国植民地技術者と帝国の辺境におけるデザインについて	72
10	久保 隆行 (派遣・共同研究)	クボ タカユキ	立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ観光学部 サステイナビリティ観光学科 教授・副学部長	日本および英国・欧州地域における中小都市の持続可能な開発政策に関する比較研究	90
11	須藤 竜大朗 (派遣・国際会議)	スドウ リュウタロウ	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教（特任）	合板及びLVLにおける部分圧縮強度及び全面圧縮強度に接着が及ぼす性能改善機構の定量評価	90
12	金子 健作 (派遣・国際会議)	カネコ ケンサク	大阪公立大学大学院 工学研究科都市系専攻 講師	慣性質量ダンパーの実務適用を促進する鋼構造建物の制振設計アプローチ	78

合計 974

2024年度国際会議助成採択者一覧（5名）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	所属	国際会議の名称	助成額
1	豊川 斎赫	トヨカワ サイカク	千葉大学大学院融合理工学府 地球環境科学専攻都市環境シ ステムコース准教授	【和文】 国立代々木競技場世界遺産 登録推進国際シンポジウム 【英文】 The International Symposium for world Heritage Nomination Promotion of Yoyogi National Stadium	150
2	長山 智則	ナガヤマ トモノリ	東京大学大学院工学系研究科 教授	【和文】 国際構造工学会2025年東京 シンポジウム 【英文】 IABSE Symposium Tokyo 2025	150
3	和田 章	ワダ アキラ	一般社団法人 日本鋼構造協会 国際委員会 CTBUH対応小委員 会委員長（「日中韓－高層建 築フォーラム」実行委員長）	【和文】 2026 日中韓-高層建築 フォーラム 【英文】 2026 China-Japan-Korea Tall Building Forum	120
4	竹内 智子	タケウチ トモコ	千葉大学大学院園芸学研究院 准教授	【和文】 第32回国際園芸学会議・第 4回都市緑化シンポジウム 【英文】 The 32nd International Horticultural Congress(IHC2026)・ IVInternational Symposium on Greener Cities (Greener Cities 2026)	150
5	榎田 竜太	エノキダ リュウタ	東北大学災害科学国際研究所 准教授	【和文】 第2回 構造工学に関する日 本－ニュージーランドワークショッ プ 【英文】 The Second Japan-New Zealand Workshop on Structural Engineering	150

合計 720

2024年度展示会・展覧会等への協賛 助成採択者一覧表（9件）

（単位：万円）

No.	氏名	フリガナ	所属	展覧会等の名称	助成額
1	河瀬 直美	カワセ ナオミ	特定非営利活動法人なら国際映画祭	なら国際映画祭 2024	100
2	塚本 能交	ツカモト ヨシカタ	公益財団法人 京都服飾文化研究財団	LOVE ファッションー私を着がえるとき	1,000
3	片岡 真実	カタオカ マミ	六本木アートナイト実行委員会	六本木アートナイト2024	100
4	鬼頭 誠司	キトウ セイジ	公益財団法人東京オペラシティ文化財団	今津景 タナ・アイル	100
5	妹島 和世	セジマ カズヨ	妹島和世建築設計事務所	HOME-FOR-ALL みんなの家プロジェクト	50
6	妹島 和世	セジマ カズヨ	公益財団法人東京都歴史文化財団東京都庭園美術館	日本の名作住宅からの学び	25
7	妹島 和世	セジマ カズヨ	公益財団法人東京都歴史文化財団東京都庭園美術館	そこに光が降りてくる カフェプロジェクト 光のカフェ	25
8	森岡 士郎	モリオカ シロウ	国際芸術祭「あいち」組織委員会	国際芸術祭「あいち2025」	100
9	黒澤 信也	クロサワ シンヤ	独立行政法人国際交流基金	第19回ヴェネチア・ビエンナーレ 国際建築展（2025）における日本館展示	100

合計 1,600

財団設立以来の各種助成事業の実施状況（2012年度～2024年度）

(2025. 4月現在)

助成対象区分		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
研究助成 (一般研究者)	応募総数	110件	88件	78件	85件	95件	105件	114件	102件	77件	82件	89件	162件	149件
	採択予定件数	17件	17件	18件	17件	42件	40件	40件	60件	45件	50件	62件	60件	70件
	採択件数	20件	30件	18件	35件	51件	49件	49件	70件	52件	51件	71件	74件	86件
	採択率 %	18.2%	34.1%	23.1%	41.2%	53.7%	46.7%	43.0%	68.6%	67.5%	62.2%	79.8%	45.7%	47.0%
	助成額 (千円)	19,585	22,580	17,694	25,100	49,379.5	47,709	64,372.25	90,792	70,606	71,550	102,370	100,650	124,770
奨励研究助成 若手研究者 (博士課程在籍者)	応募総数	23件	10件	17件	10件	17件	12件	18件	9件	9件	20件	15件	23件	35件
	採択予定件数	5件	5件	5件	5件	10件	10件	6件	6件	6件	6件	10件	7件	15件
	採択件数	7件	8件	5件	7件	11件	10件	10件	7件	6件	17件	14件	17件	24件
	採択率 %	30.4%	80.0%	29.4%	70.0%	64.7%	83.3%	55.6%	77.8%	66.7%	85.0%	93.3%	73.9%	42.9%
	助成額 (千円)	3,300	3,980	2,490	3,160	5,490	4,934	7,422.5	5,230	4,660	13,590	11,200	13,300	19,050
在外研修助成 (修士・博士 課程在籍者)	応募総数	0件	0件	0件	3件	0件	1件	0件	2件	1件	2件	0件	0件	0件
	採択予定件数	1件	1件	1件	1件	2件	1件	1件	1件	1件	3件	3件	3件	3件
	採択件数	0件	0件	0件	2件	0件	1件	0件	2件	1件	2件	0件	0件	0件
	採択率 %	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	助成額 (千円)	0	0	0	850	0	500	0	1,280	700	1,780	0	0	0
国際交流助成	応募総数	12件	7件	6件	8件	3件	7件	7件	8件	5件	3件	4件	9件	16件
	採択予定件数	2件	2件	2件	2件	4件	2件	5件	5件	5件	5件	5件	5件	5件
	採択件数	3件	3件	2件	2件	2件	4件	4件	5件	5件	2件	4件	4件	12件
	採択率 %	25.0%	42.9%	33.3%	25.0%	66.7%	57.1%	57.1%	62.5%	100.0%	66.7%	100.0%	44.4%	31.3%
	助成額 (千円)	1,570	1,800	1,200	1,200	1,160	2,100	2,443	4,340	3,940	1,800	3,590	3,200	9,740
国際会議助成	応募総数	7件	12件	13件	5件	8件	7件	11件	9件	5件	6件	12件	10件	7件
	採択予定件数	3件	3件	3件	3件	5件	5件	5件	5件	5件	5件	5件	5件	5件
	採択件数	3件	5件	3件	3件	5件	5件	5件	6件	5件	6件	8件	6件	5件
	採択率 %	42.9%	41.7%	23.1%	60.0%	62.5%	71.4%	45.5%	66.7%	100.0%	100.0%	66.7%	60.0%	71.4%
	助成額 (千円)	3,000	4,000	3,000	2,970	4,700	4,950	6,615	7,680	7,490	9,000	11,300	8,930	7,200
展示会・展覧会等への 協賛	応募総数	3件	3件	5件	3件	3件	2件	1件	4件	2件	3件	5件	4件	9件
	採択予定件数	4件	4件	4件	4件	8件	3件	3件	3件	3件	3件	5件	5件	6件
	採択件数	3件	3件	5件	3件	3件	2件	1件	4件	2件	3件	5件	4件	9件
	採択率 %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	助成額 (千円)	700	1,215	3,300	3,000	2,900	3,000	1,000	3,600	2,000	3,327	5,345.3	3,010	16,282.5
申請総数		155件	120件	118件	114件	126件	134件	151件	134件	99件	116件	125件	208件	216件
採択予定件数 (合計)		32件	32件	33件	32件	71件	61件	60件	80件	65件	72件	90件	85件	104件
採 択 数		36件	49件	33件	52件	72件	71件	69件	92件	71件	81件	102件	105件	136件
採 択 率 %		23.2%	40.8%	28.0%	45.6%	57.1%	53.0%	45.7%	68.7%	71.7%	69.8%	81.6%	50.5%	48.1%
助 成 額 (千円)		28,155	33,575	27,684	36,280	63,629.5	63,193.0	81,852.75	112,922	89,396	101,047.2	133,805.3	129,090.0	177,042.5

(注)2024年度研究助成は決定後3名辞退。採択件数より削除済み。

財団設立以来の各種助成事業の実施状況（1998年度～2011年度）

(2025.4月現在)

助成対象区分		1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	
研究助成 (一般研究者)	応募総数	24件	56件	49件	41件	46件	53件	63件	81件	87件	73件	88件	81件	82件	88件	
	採択予定件数	8件	10件	10件	10件	12件	12件	12件	10件	10件	17件	15件	12件	12件	15件	
	採択件数	8件	10件	11件	13件	12件	12件	13件	11件	20件	18件	15件	12件	14件	16件	
	採択率 %	33.3%	17.9%	22.4%	31.7%	26.1%	22.6%	20.6%	13.6%	23.0%	24.7%	17.0%	14.8%	17.1%	18.2%	
	助成額 (千円)	12,000	14,850	16,340	19,470	17,711	17,580	19,360	16,500	29,250	26,320	22,154	17,660	16,700	15,890	
奨励研究助成 若手研究者 (博士課程在籍者)	応募総数	9件	8件	12件	10件	9件	8件	7件	6件	4件	6件	3件	12件	13件	12件	
	採択予定件数	8件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	7件	7件	10件	7件	5件	10件	10件	
	採択件数	9件	8件	10件	9件	9件	8件	7件	6件	4件	6件	3件	7件	10件	9件	
	採択率 %	100.0%	100.0%	83.3%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	58.3%	76.9%	75.0%
	助成額 (千円)	2,700	2,380	3,000	2,700	2,700	2,400	2,100	1,800	1,200	1,800	900	2,100	3,000	2,620	
在外研修助成 (修士・博士 課程在籍者)	応募総数			3件	3件	1件	2件	0件	1件	3件	2件	0件	1件	3件	1件	
	採択予定件数			0件	3件	3件	3件	3件	3件	3件	3件	3件	3件	2件	2件	
	採択件数			3件	3件	1件	2件	0件	1件	3件	2件	0件	1件	2件	1件	
	採択率 %			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	66.7%	100.0%	
	助成額 (千円)			900	900	300	600	0	300	900	600	0	300	600	300	
国際交流助成	応募総数	17件	13件	7件	6件	8件	5件	7件	18件	5件	8件	10件	9件	8件	10件	
	採択予定件数	8件	10件	10件	10件	10件	10件	10件	8件	8件	8件	8件	8件	8件	4件	
	採択件数	8件	9件	7件	5件	8件	5件	7件	8件	5件	8件	9件	6件	8件	4件	
	採択率 %	47.1%	69.2%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	44.4%	100.0%	100.0%	90.0%	66.7%	100.0%	40.0%	
	助成額 (千円)	4,000	4,260	3,264	2,310	3,470	2,500	3,300	3,640	2,430	3,312	4,177	2,952	3,842	1,845	
国際会議助成	応募総数	1件	6件	2件	1件	3件	4件	3件	6件	3件	7件	4件	14件	10件	5件	
	採択予定件数	1件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	2件	3件	3件	3件	3件	4件	
	採択件数	1件	2件	2件	1件	2件	2件	2件	2件	3件	5件	3件	3件	4件	4件	
	採択率 %	100.0%	33.3%	100.0%	100.0%	66.7%	50.0%	66.7%	33.3%	100.0%	71.4%	75.0%	21.4%	40.0%	80.0%	
	助成額 (千円)	1,000	2,000	2,000	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	3,000	5,000	3,000	3,990	3,200	
展示会・展覧会等への協賛	応募総数		0件	1件	0件	1件	1件	0件	0件	0件	1件	1件	2件	1件	3件	
	採択予定件数		2件	2件	2件	2件	2件	2件	1件	1件	1件	1件	1件	2件	2件	
	採択件数		0件	1件	0件	1件	1件	0件	0件	0件	1件	1件	2件	1件	3件	
	採択率 %		0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	助成額 (千円)		0	1,000	0	1,000	1,000	0	0	0	1,233	500	1,000	1,000	1,781	
申請総数	51件	83件	74件	61件	68件	73件	80件	112件	102件	97件	106件	119件	117件	119件		
採択予定件数 (合計)	25件	34件	34件	37件	39件	39件	39件	31件	31件	42件	37件	32件	37件	37件		
採択数	26件	29件	34件	31件	33件	30件	29件	28件	35件	40件	31件	31件	39件	37件		
採択率 %	51.0%	34.9%	45.9%	50.8%	48.5%	41.1%	36.3%	25.0%	34.3%	41.2%	29.2%	26.1%	33.3%	31.1%		
助成額 (千円)	19,700	23,490	26,504	26,380	27,181	26,080	26,760	24,240	36,780	38,265	30,731	27,012	29,132	25,636		

2024年度

国内奨学金 奨学生採択者所属大学一覧表（第13期）

No.	大学名	採択者人数
1	筑波大学	1名
2	東京大学	1名
3	一橋大学	2名
4	慶應義塾大学	1名
5	早稲田大学	1名
6	上智大学	1名
7	立教大学	1名
8	名古屋工業大学	1名
9	京都大学	1名
10	大阪公立大学	1名
11	関西大学	1名
	合 計	12名

海外留学奨学金 奨学生採択者所属大学一覧表（第1期）

No.	大学名	採択者人数
1	東北大学	1名
2	東京大学	2名
3	東京科学大学	1名
4	一橋大学	1名
5	慶應義塾大学	1名
6	横浜国立大学	1名
7	京都大学	1名
8	大阪大学	1名
	合 計	9名

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

2025年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
理事長	非常勤	大林 剛郎	2024年7月2日	業務の総理	(株)大林組 取締役会長 兼 取締役会議長	
理事	同上	岩崎 貢	2024年6月6日	業務の決議	日本生命保険相互会社 専務執行役員	
同上	同上	沖原 隆宗	同上	同上	株式会社三菱UFJ銀行 特別顧問	
同上	同上	亀谷 太郎	2024年11月19日	同上	糸平興産株式会社 代表取締役社長	
同上	同上	神戸 雄一郎	2023年5月30日	同上	かんべ土地建物株式会社 代表取締役社長	
同上	同上	佐和 隆光	2024年6月6日 任期満了		京都大学 名誉教授	
同上	同上	仲上 健一	2024年6月6日	業務の決議	立命館大学 OIC 総合研究機構サステイ ナビリティ学研究センター 上席研究員 立命館大学 名誉教授	
常務理事	常勤	絹川 直	2023年6月14日	理事長の補佐	(公財)大林財団	

監事	非常勤	小林 啓文	2024年6月6日	監査	小林啓文法律事務所 弁護士	
同上	同上	加賀谷 達之助	同上	同上	公認会計士	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
評議員会長	非常勤	大林 智子	2022年6月2日	議案の審議・助言	榊TJ COLLECTION 代表	
評議員	同上	岡野 光喜	同上	同上	サンフロント21懇話会 名誉代表幹事	
同上	同上	川村 喜久	2023年5月30日	同上	DIC 株式会社 取締役	
同上	同上	佐藤 俊美	2025年3月31日 辞任		榊大林組 代表取締役副社長執行役員	
同上	同上	富田 和孝	2022年10月5日	同上	日の丸交通株式会社 代表取締役社長	
同上	同上	藤本 壮介	2022年6月2日	同上	株式会社藤本壮介建築設計事務所 代表 取締役	
同上	同上	森 京子	同上	同上	森美術館 理事長	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
選考委員	非常勤	大西 隆	2025年1月17日	助成候補の選考	東京大学 名誉教授	委員長
同上	同上	伊東 順二	同上	同上	学校法人福岡建設専門学校 理事長	副委員長
同上	同上	青柳 いづみこ	同上	同上	大阪音楽大学 教授	
同上	同上	池田 靖史	同上	同上	東京大学大学院工学系研究科 建築学専 攻 特任教授	
同上	同上	土佐 尚子	同上	同上	京都大学防災研究所 特定教授	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
選考委員	非常勤	佐々木 葉	2025年1月17日	助成候補の選考	早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 教授	
同上	同上	平田 京子	同上	同上	日本女子大学 建築デザイン学部 建築デザイン学科 教授	
同上	同上	村木 美貴	同上	同上	千葉大学大学院 工学研究院 教授	
同上	同上	森 知也	同上	同上	京都大学経済研究所 教授	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
推薦選考委員	非常勤	野村 しのぶ	2024年11月25日	助成候補の選考	東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター	委員長
同上	同上	保坂 健二郎	同上	同上	滋賀県立美術館 ディレクター(館長)	副委員長
同上	同上	飯田 志保子	同上	同上	キュレーター	
同上	同上	大坂 紘一郎	同上	同上	アサクサ 代表	
同上	同上	藪前 知子	同上	同上	東京都現代美術館 学芸員	

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	現職	備考
奨学生選考委員	非常勤	大西 隆	2024年4月1日	奨学生候補の選考	東京大学 名誉教授	委員長
同上	同上	平山 忠	同上	同上	(株)大林組 本社人事部長	副委員長
同上	同上	佐々木 葉	同上	同上	早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 教授	
同上	同上	森 知也	同上	同上	京都大学経済研究所 教授	
同上	同上	安部 浩	同上	同上	(株)大林組 執行役員 建築本部副本部長 兼 建築本部本部長室長	
同上	同上	大西 康之	2025年3月31日 辞任		(株)大林組 執行役員 土木本部副本部長 兼 土木本部本部長室長	

2. 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	常勤	絹川 直	2023年4月1日	事務局の統括	(株)大林組との出向契約による。
			2025年2月25日	同上	(公財)大林財団との直接雇用による。
マネージャー	同上	吉川 裕子	2008年1月15日	経理・総務・庶務の統括	(株)大林組との出向契約による。
事務局員	非常勤		2023年7月10日	奨学事業全般	
同上	常勤		2012年10月1日	経理・総務・庶務	
同上	同上		2025年10月1日	経理・総務・庶務	

3. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	会議事項	会議の結果
2024年5月14日	1.2023年度事業報告書及び附属明細書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.2023年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録の承認の件	全会一致で承認・可決
	3.第41回評議員会を招集する件	全会一致で承認・可決
	4.理事の辞任について	報告事項
2024年6月6日	1.基本財産である大林組株式の配当が増加することに伴い2024年度事業計画書及び正味財産増減予算書を修正する件	全会一致で承認・可決
	2.大林賞賞金の増額の件	全会一致で承認・可決
	3.2024年度第1回業務執行状況の報告について	報告事項
	4.資産運用状況の報告について	報告事項
2024年7月2日	1.大林剛郎を理事長(代表理事)に選定する件	全会一致で承認・可決
	2.名誉理事を選任する件	全会一致で承認・可決
	3.理事の選任について	報告事項
	4.監事の選任について	報告事項
2024年10月24日	1.推薦選考委員の任期満了に伴う選任の件	全会一致で承認・可決
	2.選考委員の任期満了に伴う選任の件	全会一致で承認・可決
	3.国内奨学生の募集開始学年を1年生(現状2年生)に変更する件	全会一致で承認・可決
	4.海外からの留学生に対する国内奨学金給付額変更の件	全会一致で承認・可決
	5.制作助成事業に係る助成金額の増額の件	全会一致で承認・可決
	6.第42回評議員会を招集する件	全会一致で承認・可決
2025年1月30日	1.第43回評議員会を招集する件	全会一致で承認・可決
	2.理事の選任について	報告事項
	3.事務局長(常務理事)を財団で直接雇用し役員報酬を支払う件について	報告事項
2025年2月27日	1.2025年度事業計画書及び正味財産増減予算書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.株主権の議決権行使の件	全会一致で承認・可決
	3.制作助成プログラム「都市のヴィジョン」2025年度助成対象者について	報告事項
	4.2024年度の助成対象者決定について	報告事項

開催年月日	会 議 事 項	会 議 の 結 果
2025年2月27日	5.2024年度第2回業務執行状況の報告について	報告事項
	6.その他(新しい公益法人制度について)	報告事項

(2) 評議員会

開催年月日	会 議 事 項	会 議 の 結 果
2024年6月6日	1.2023年度事業報告書及び附属明細書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.2023年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録の承認の件	全会一致で承認・可決
	3.基本財産である大林組株式の配当が増加することに伴い2024年度事業計画書及び正味財産増減予算書を修正する件	全会一致で承認・可決
	4.理事の選任の件	全会一致で承認・可決
	5.監事の選任の件	全会一致で承認・可決
	6.2024年度第1回業務執行状況の報告について	報告事項
	7.資産運用状況の報告について	報告事項
	8.大林賞賞金の増額について	報告事項
	9.理事の辞任について	報告事項
2024年11月19日	1.理事の選任の件	全会一致で承認・可決
	2.事務局長(常務理事)を財団で直接雇用し役員報酬を支払う件	全会一致で承認・可決
	3.推薦選考委員の任期満了に伴う選任について	報告事項
	4.選考委員の任期満了に伴う選任について	報告事項
	5.国内奨学生の募集開始学年を1年生(現状2年生)に変更する件について	報告事項
	6.海外からの留学生に対する国内奨学金給付額変更について	報告事項
	7.制作助成事業に係る助成金額の増額について	報告事項
2025年2月27日	1.2025年度事業計画書及び正味財産増減予算書の承認の件	全会一致で承認・可決
	2.株主権の議決権行使について	報告事項
	3.制作助成プログラム「都市のヴィジョン」2025年度助成対象者について	報告事項
	4.2024年度の助成対象者決定について	報告事項
	5.2024年度第2回業務執行状況の報告について	報告事項
	6.その他(新しい公益法人制度について)	報告事項

(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
2024年11月28日	大林賞の在り方について	第14回大林以降の大林賞のあり方や今後の選定方法について検討(1回目)
2025年1月20日	1.選考委員長および選考副委員長の選出について	選考委員長を大西隆氏、選考副委員長を伊東順二氏に決定
	2.2024年度研究助成等の選考について	承認
	3.展示会・展覧会への協賛について	承認
	4.2025年度助成事業に関するスケジュールについて	承認
	5.大林賞の在り方について	第14回大林以降の大林賞のあり方や今後の選定方法について検討(2回目)

(4) 奨学生選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
2024年6月17日	1.奨学生選考委員長および奨学生選考副委員長の選任の件	奨学生選考委員長を大西隆氏、奨学生選考副委員長を平山忠氏に決定
	2.2024年度(第1期)海外留学奨学生の選考の件	全会一致で候補者を選考決定
	3.海外留学奨学生の選考方法の件	海外留学奨学生の選考方法を実態に合わせて検討
	4.海外留学奨学生の他団体との併給の件	海外留学奨学生の他団体との併給について検討
	5.国内奨学金制度の見直しの件	①海外からの留学生に対する給付金額変更について、②応募者減少について、の2件について検討
2024年7月18日	1.2024年度(第13期)国内奨学生選考の件	全会一致で候補者を選考決定
	2.国内奨学生応募者数減少の対応策検討の件	国内奨学生応募者数減少の対応策を検討

(5) 推薦選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
2024年6月5日	今後の制作助成事業運営について意見交換	事務局機能の外部委託検討について意見交換を行った
2024年6月26日	今後の制作助成事業運営について	外部委託候補の選定と委託事項についての検討を行った
2024年8月21日	2025年度制作助成事業候補者検討(1回目)	計17組の候補者について、推薦者から補足説明いただき検討を行った。
2024年10月3日	1.2025年度制作助成事業候補者検討(2回目)	2次選考に残った17名のうち、投票により9名まで、再投票で2名まで絞り込みを行った
	2.助成要項(採択者との契約)の再検討について	第5回採択者に対し助成要項の見直しを行った
	3.今後のスケジュールの確認	今後のスケジュールについて確認を行った

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
2024年11月5日	推薦選考委員長を野村しのぶ氏、推薦選考副委員長を保坂健二郎氏とする件	推薦生選考委員長を野村しのぶ氏、推薦生選考副委員長を保坂健二郎氏に決定
2024年12月9日	1.2025年度制作助成事業候補者によるプレゼンテーションおよび質疑応答	候補者によるプレゼンテーションおよび質疑応答を行った
	2.助成要項の内容検討	前回に引き続き、内容の検討を行った
	3.今後のスケジュールの確認	今後のスケジュールについて確認を行った

4. 許可、認可、承認、証明等に関する事項

申請年月日	申 請 事 項	許 可 年 月 日	備 考
	該当事案なし		

5. 契約に関する事項

契約年月日	契約相手方	契約の内容	契約期間
2025年10月3日	NPO法人アーツイニシアティヴ トウキョウ	制作助成事業運営全般に関わる 業務の委託	2025年10月3日～

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	寄付金額
	なし	

7. 内閣府への届出・提出

連絡年月日	連絡事項	履行状況
2024年6月28日	2023年度事業報告書等の提出	電子申請による提出
2024年11月29日	内閣府へ変更の届出を提出 (大林賞賞金増額、制作助成金の増額、奨学事業選考方法等 の変更、国内奨学金における海外からの留学生への奨学金 の増額)	電子申請による提出
2025年3月25日	2025年度事業計画書等の提出	電子申請による提出

予算対比正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	432,000,150	564,002,034	△ 132,001,884
基本財産受取利息	150	2,034	△ 1,884
基本財産受取配当金	432,000,000	564,000,000	△ 132,000,000
特定資産運用益	2,600	0	2,600
特定資産受取利息	2,600	0	2,600
雑収益	0	1,498,584	△ 1,498,584
受取利息	0	320,165	△ 320,165
雑収益	0	1,178,419	△ 1,178,419
経常収益計	432,002,750	565,500,618	△ 133,497,868
(2) 経常費用			
事業費			
助成費	149,700,000	177,042,500	△ 27,342,500
顕彰事業関係費	11,400,000	12,418,057	△ 1,018,057
助成事業関係費	6,981,000	5,335,125	1,645,875
制作助成関係費	16,730,000	6,663,317	10,066,683
制作助成推進費	0	5,500,445	△ 5,500,445
奨学給付金	40,500,000	34,845,375	5,654,625
奨学事業推進費	7,630,000	6,962,407	667,593
直接事業費 小計	232,941,000	248,767,226	△ 15,826,226
管理費			
給料手当	11,378,290	11,725,973	△ 347,683
退職給付費用	494,340	406,066	88,274
福利厚生費	1,118,040	1,217,091	△ 99,051
通信運搬費	345,000	253,473	91,527
消耗品費	675,000	331,192	343,808
修繕費	68,250	67,545	705
賃借料	4,185,000	4,241,162	△ 56,162
管理諸費	66,600	69,630	△ 3,030
リース料	165,000	164,340	660
手数料	112,500	49,736	62,764
委託費	0	1,212,337	△ 1,212,337
情報公開データ整備費	2,625,000	1,700,780	924,220

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
水道光熱費	36,000	44,547	△ 8,547
雑費	0	26,169	△ 26,169
間接事業費 小計	21,269,020	21,510,041	△ 241,021
事業費 合計	254,210,020	270,277,267	△ 16,067,247
役員報酬	840,000	1,370,000	△ 530,000
給料手当	3,800,000	3,678,656	121,344
役員退職慰労費用	0	108,333	△ 108,333
退職給付費用	147,660	125,434	22,226
福利厚生費	333,960	567,189	△ 233,229
会議費	1,200,000	1,247,602	△ 47,602
旅費交通費	1,980,000	2,211,062	△ 231,062
通信運搬費	115,000	236,397	△ 121,397
消耗品費	225,000	1,367,238	△ 1,142,238
修繕費	22,750	22,514	236
印刷製本費	100,000	74,800	25,200
図書費	52,000	57,781	△ 5,781
賃借料	1,395,000	1,427,720	△ 32,720
管理諸費	22,200	23,210	△ 1,010
リース料	55,000	54,780	220
手数料	37,500	76,910	△ 39,410
謝金	662,000	660,000	2,000
租税公課	10,000	3,500	6,500
委託費	1,800,000	1,472,443	327,557
会費	300,000	647,990	△ 347,990
情報公開データ整備費	875,000	866,401	8,599
水道光熱費	12,000	14,848	△ 2,848
保険料	24,000	23,740	260
雑費	380,000	446,865	△ 66,865
管理費 合計	14,389,070	16,785,413	△ 2,396,343
経常費用計	268,599,090	287,062,680	△ 18,463,590
評価損益等調整前当期経常増減額	163,403,660	278,437,938	△ 115,034,278
当期経常増減額	163,403,660	278,437,938	△ 115,034,278
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
当期一般正味財産増減額	163,403,660	278,437,938	△ 115,034,278
一般正味財産期首残高	179,380,818	179,380,818	0
一般正味財産期末残高	342,784,478	457,818,756	△ 115,034,278
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	731,321,012	△ 731,321,012
当期指定正味財産増減額	0	731,321,012	△ 731,321,012
指定正味財産期首残高	11,764,476,647	11,764,476,647	0
指定正味財産期末残高	11,764,476,647	12,495,797,659	△ 731,321,012
III 正味財産期末残高	12,107,261,125	12,953,616,415	△ 846,355,290